

2018年2月8日

受験生各位

神戸学院大学

2018年度一般入試前期日程における入試ミスについて

本学が2018年2月2日（金）に実施しました2018年度一般入試前期日程の「生物」におきまして、下記のとおり入試ミスがありました。

受験生の皆さまにお知らせしますとともに、ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今回の事態を真摯に受け止め、再発防止に努めてまいります。

記

(1) 対象となる学部学科名	総合リハビリテーション学部 理学療法学科、作業療法学科 栄養学部 栄養学科（管理栄養学専攻、生命栄養学専攻）	
(2) 試験実施年月日	2018年2月2日（一般入試前期日程第2日）	
(3) ミスのあった試験科目	生物	選択科目
(4) 当該科目の受験者数	64名	
(5) ミスの内容	Ⅵ [文章②] 問題リード文にミスがありました。 リード文では、図3の筋肉を「大腿四頭筋」としているが、 図3で示された筋肉は、坐骨神経とつながっていることから、 「大腿四頭筋」ではなく「腓腹筋」と記載することが適切でした。	
(6) ミスのあった問題の抜粋	Ⅵ 神経の興奮の伝導に関する次の文章①,②を読み、下の問 1～問6に答えよ。 .....(中略).....  別紙参照	
(7) ミスのあった問題の配点	3点	
(8) ミスのあった科目の満点	150点	
(9) 対応等	[文章②] リード文および図3に関わる問題である問5は、 筋肉につながる運動神経のある2点を刺激して伝導速度を 計算して、刺激から筋収縮に至る時間を求める内容です。リ ード文中の筋肉が大腿四頭筋であっても、腓腹筋であっても 解答を導き出すうえでは支障をきたさないと判断されるこ とから、特別な対応は行わず当初の正答で採点を行います。	

以上

## 〔文章②〕

眼の前にボールが飛んでくると眼をつぶり、指先に熱いものが触れると思わず手を引っ込める。このように、無意識にすばやい反応を行うしくみを反射という。図3は、運動神経を刺激後、大腿四頭筋が収縮を開始するまでの時間を計測する実験を模式的に表したものであり、次の実験結果を得た。

## 実験結果

図3の運動神経のa点に刺激電極をおき、電気刺激を1回与えると、5.0ミリ秒後に筋肉が収縮しはじめ、収縮後に元に戻った。十分に筋肉を休ませた後、b点に刺激電極を移動して同様な刺激を与えたとき、刺激を与えて5.6ミリ秒後に筋肉が収縮しはじめた。a点と運動神経の軸索の末端、b点と運動神経の軸索の末端との距離はそれぞれ3cmと12cmであった。

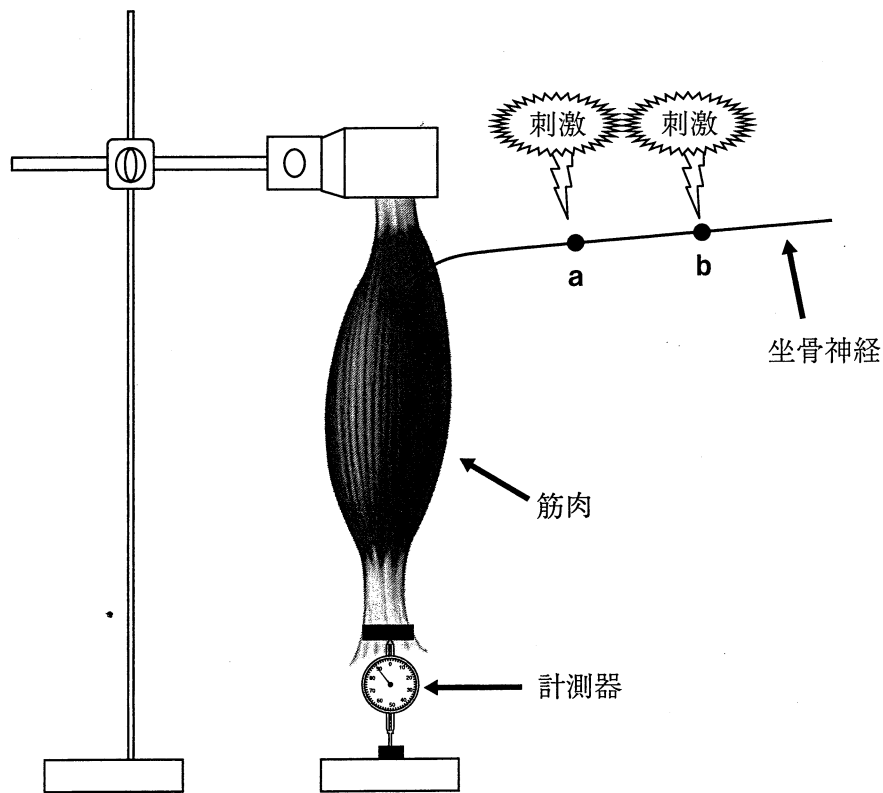


図3

問5 46 文章②中の実験結果から、興奮が運動神経の軸索の末端に到達後、筋肉が収縮し始めるまでの時間は何ミリ秒か。最も適切なものを、次のA～Iのうちから1つ選べ。

- |       |       |       |        |       |
|-------|-------|-------|--------|-------|
| A 0.3 | B 0.7 | C 1.5 | D 3.8  | E 4.8 |
| F 5.0 | G 6.8 | H 9.0 | I 12.9 |       |